

特定非営利活動法人
足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわ

2021年度法人総会 議案書



※写真(左上から時計回りに)
SDGsカードゲーム体験(8/11)、自立電源システムづくりワークショップ in 越ヶ谷(8/18)、令和2年度気候変動アクション環境大臣表彰(11/21)、脱炭素チャレンジカップ 2021 企業団体賞を受賞(2/9)

- 第1号議案 2020年度事業報告
- 第2号議案 2020年度会計決算報告
- 第3号議案 2021年度事業計画(案)
- 第4号議案 2021年度会計予算(案)
- 第5号議案 2021～22年度役員(案)

2021年5月22日(土) 14:00～15:00
小松川市民ファーム

第1号議案 2020年度事業報告

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大によるコロナ禍が長期化する中で、イベント出展や講師派遣などの対外的なイベントがほとんどできなかった。しかし、このことは本会の抱える課題を見つめ直し、コンサルティングや紹介動画の作成など、コロナ禍に対応した様々なチャレンジを行う1年ともなった。

「令和2年度気候変動アクション環境大臣表彰」での表彰、「脱炭素チャレンジカップ2021」の企業団体賞受賞は、これまでの活動が対外的な評価に値すると認められたものであり、自信にもつながった。そして、第3弾となる環境絵本づくりプロジェクトの立ち上げにもつながった。一方で、ゼロエミッション東京を実現する会の活動サポートから新たなメンバーが加わり、自然エネルギーによる市民発電所建設をめざす団体からの意見交換から新たな発電所建設計画が具体化するなどの成果もあった。

こうしたことから、コロナ禍にあってもそれに対応した活動を行うことで、次の活動展開に向けて足腰を鍛えることができたと考える。

●特定非営利活動に係る事業

1. 家庭・地域における省エネアクションプランの作成とキャンペーンの実施

えどがわエコセンター低炭素社会づくり委員会への参加については、コロナ禍でほぼ活動停止状態となり、関わる事ができなかった。また、自立電源システムづくりWSについては越谷市民ネットワークで実施することができた。

<自己評価>

コロナ禍の長期化に伴って、えどがわエコセンターの活動が従来通りに戻ることは考えにくい。コロナ終息後を視野に、具体的なアクションプランやキャンペーンの企画提案を進めていく必要があり、低炭素社会づくり委員会での議論をリードする役割を果たす必要がある。

2. 地球温暖化やエネルギー等環境問題に関する研修会の実施等の啓発教育

コロナ禍で、環境フェアなど対外イベントが全面的に中止となる中、視察受け入れや講師派遣がほとんどできなかった。その一方で、環境副読本『ハルナのちから』（2004年・2012年作成）に続き、前代表からのシナリオ提案を受け、第3弾となる絵本作成に向けたプロジェクトが発足、作成資金獲得のためパタゴニア環境助成金への応募を検討した。

<講師派遣実績>

① 自立電源システムづくりWS(8/18)

<自己評価>

コロナ禍の長期化に伴って、視察受け入れや講師派遣が従来通りに戻ることは考えにくい。絵本プロジェクトが、単なる絵本の作成にとどまらず、市民や社会に対して能動的な活動を促すツールとなるよう企画していく必要がある。

3. 市民出資による自然エネルギー発電所の建設と運営

市民電力連絡会の理事として、市民・地域主体による自然エネルギー発電所拡大に向けた運営に参画する一方、発電所建設をめざす「一般社団法人あびこ自然エネルギー」に対して発電所建設に向けた助言を続けた結果、全量売電によらない自家消費型・無分配出資による市民共同発電所の建設にこぎ着けることができた。そして、同様の動きを目指す「一般社団法人銀座環境会議」とも意見交換を行った。

<自己評価>

FIT制度が買取価格の低下、市場原理の導入で大きく変わる中、江戸川区での自然エネルギー普及・拡大に向けた役割発揮が求められる。

4. 地球温暖化防止のための地域行政、国、国際社会、市民への政策提言

国への政策提言の一環として、オフグリッドハウス松江の家について「令和2年度気候変動アクション環境大臣表彰」、「脱炭素チャレンジカップ2021」に応募したところ、前者では環境大臣表彰、後者では企業

団体賞「気象キャスターネットワーク最優秀市民・学校エコ活動賞」を受賞した。これを機に、えどがわエコセンターからの取材やみんな電力によるオンラインインタビュー企画への参加など活動を露出する機会が得られた。

<自己評価>

江戸川区がSDGsと気候変動対策を2本柱に掲げる中、環境行政も従来の体制から大きく変わりつつある。2050年ゼロエミッションに向けて、エコタウンえどがわ推進計画の目標引き上げを区側に働きかけるため定期的な意見交換の場を設けることなどの検討が必要ではないか。

5. 国内外で開催される、気候変動枠組み条約関連会議への参加やキャンペーンの実施

気候ネットワークやストップフロン全国連絡会の理事として運営に参画する一方、パワーシフトキャンペーンの活動にも参加した。グリーンピースジャパン主催のワークショップ開催を機に、自治体での2050年ゼロエミッション(温室効果ガス排出実質ゼロ)意思決定を促す「ゼロエミッション東京を実現する会」の活動に参加し助言等を行った。また、江戸川区議会に対してゼロエミッションシティ宣言にかかる陳情提出に向けてサポートした。

<自己評価>

「ゼロエミッション東京を実現する会」の活動を通じて、会員を獲得できた。陳情における署名活動の展開などを通じて、活動の広がりや積極的に参画する人材の獲得を進める必要がある。

6. 政府機関、自治体、事業者、市民、NGOとの交流、連絡提携

コロナ禍で交流の機会は無かったが、若年層の参加と地域社会への浸透を図るため、学生団体である「180Degrees Consulting Japan」にコンサルティングを依頼した。コロナ禍で、意見交換がオンラインによる短時間のものとなったため、団体側に活動や課題の十分な理解が得られず、SNS活用や会報のWeb化、他団体との連携といった提言にとどまったが、学生との意見交換自体は有意義な経験となった。

<自己評価>

コロナ禍の長期化に伴って、パタゴニア丸の内ストアとの連絡提携が進んでいない。絵本プロジェクトのパタゴニア環境助成金の申請を通じて、新たな提携を模索していく必要がある。

7. 本法人の目的および地球環境問題全般に関する調査研究および情報の収集と提供

コロナ禍でオンライン会議が急増したため、事務局の通信環境改善に向け、契約切り替えを支援した。また、脱炭素チャレンジカップ2021出場にあたり、プレゼン用動画を作成し、公式 Facebook で公開した。そして、事業活動紹介動画の作成・公開に向けて検討を開始した。『あしもと通信』の発行では、Vol. 95～98と年4回発行を達成すると共に公式 Facebook の「いいね！」が1,000件に達した。

<自己評価>

政府が2050年ゼロエミッションを宣言するなど気候変動対策が大きく動き出す中で、これまでの活動の蓄積から、さらなる情報発信の必要性が高まるものと思われる。また、ふさわしい社会経済のあり方について情報収集を行い情報発信していくことも求められる。

●その他の活動に係る事業

1. 発電にかかるとる事業

えど・そら1号機～3号機は、概ね想定通りの発電量を確保できた。第三者への加害に対する損害賠償保険の検討では、風水害が保険の対象外となることもあり、適切な保険商品が見いだせない一方で、被害に対する道義的な見舞金を売電収入から積み立てることなども検討材料にあがっている。

<自己評価>

えど・そら発電所の発電開始から8年を迎える中、借入金の返済や出資金の償還に向けた作業の具体化が求められる。また、発電所に対する地域の理解を得るため見学会の開催も検討する必要がある。

2020年度 事業活動日誌

- 4. 16 「180Degrees Consulting Japan」と打ち合わせ
- 4. 24 デジタル気候マーチに参加
 - 5. 1 ●第1回運営委員会
- 5. 10 「180Degrees Consulting Japan」と打ち合わせ
- 5. 30 ※『あしもと通信』Vol.95を発行
- 6. 03 グリーンピースジャパン「アフターコロナの東京を描くワークショップ」に参加
- 6. 13 ●2020年度法人総会+第2回運営委員会
- 6. 14 ストップフロン全国連絡会総会に出席
- 6. 19 えどがわエコセンター総会に出席
- 6. 21 気候ネットワーク総会に出席
- 7. 05 「180Degrees Consulting Japan」と打ち合わせ
- 7. 15 東京自治研究センター月例フォーラム「気候温暖化と甚大化する風水害～自治体政策」に参加
- 7. 20 ●第3回運営委員会
- 8. 10 SDGsカードゲーム体験会
- 8. 16 「180Degrees Consulting Japan」コンサルティング最終報告会
- 8. 18 移動式自立電源システムづくりWS(越谷市民ネットワーク)を実施
- 8. 29 ※『あしもと通信』Vol.96を発行
- 9. 14 ●第4回運営委員会
事務局 Wi-Fi として楽天モバイルを契約
- 10. 14 ●第5回運営委員会
- 10. 15 佐藤正兵氏宅への太陽光発電パネル設置に向けた下見を実施
- 11. 07 「首都圏市民電力交流会」に参加
- 11. 14 足温ネット活動紹介動画を撮影
- 11. 16 ●第6回運営委員会
- 11. 21 「気候変動アクション環境大臣表彰・受賞者フォーラム」に出席
- 11. 24 ◇えどがわエコセンター松江の家視察&取材
- 12. 01 「脱炭素チャレンジカップ2021」ファイナリストに選出される
- 12. 04 ◇みんな電力オンラインインタビューに出演
- 12. 08 「東アジア気候フォーラム」セミフォーラムに出席
- 12. 14 ●第7回運営委員会
- 12. 18 脱炭素チャレンジカッププレゼン用動画を撮影
- 12. 19 ※『あしもと通信』Vol.97を発行
- 12. 20 原発ゼロかわさき市民発電所5周年記念イベントに出席
 - 1. 14 「脱炭素チャレンジカップ2021」事前リハーサルに参加
 - 1. 16 市民ファーム改装に伴う運び出し
 - 1. 20 エコメッセ江戸川運営委員会に出席
 - 1. 22 ●第8回運営委員会
 - 2. 02 さようなら原発江戸川連絡会ミーティングに参加
 - 2. 06 市民ファーム改装終了、荷物を搬入
 - 2. 08 「脱炭素チャレンジカップ2021」事前リハーサルに参加
 - 2. 09 「脱炭素チャレンジカップ2021」で企業・団体賞を受賞
 - 2. 12 ゼロカーボンシティ宣言に関する陳情を区議会に提出
 - 2. 13 「ゼロエミッション東京を実現する会」ミーティングに参加
 - 2. 15 気候ネットワーク理事会に出席
 - 2. 18 ●第9回運営委員会
 - 2. 26 市民電力連絡会2021総会&記念フォーラムに出席
- 3. 01 東アジア環境情報発信所総会に出席
- 3. 06 ※『あしもと通信』Vol.98を発行
- 3. 12 区議会生活振興環境委員会の陳情審査を傍聴
- 3. 23 ●第10回運営委員会

第2号議案 2020年度会計決算報告

活動計算書

自:2020年4月1日 至:2021年3月31日

(単位:円)

	非営利活動に係る事業	その他の事業	合計	摘要
I 経常収益				
売電売上	0	2,220,421	2,220,421	えど・そら売電収入
会員会費収入	47,000	0	47,000	年会費(1,000×47名)
寄付金収入	71,700	0	71,700	会員等からの寄付金
講師派遣収入	110,000	0	110,000	講師等謝金
その他収入	40,300	1,000	41,300	ワークショップ参加費、見学謝礼
受取利息	0	201	201	預金利息(小松川信用金庫等)
経常収益計	269,000	2,221,622	2,490,622	
II 経常費用				
1.事業費				
水道光熱費	0	24,134	24,134	電気代等
諸会費	5,000	4,000	9,000	気候ネットワーク会費等
支払手数料	0	880	880	振込手数料等
地代家賃	0	64,800	64,800	発電所用地賃料
減価償却費	0	977,978	977,978	えど・そら発電設備(太陽光発電パネル等)
支払利息	0	22,282	22,282	借入金
2.管理費				
会議費	227	1,873	2,100	運営委員会開催費
旅費交通費	372	3,068	3,440	イベント参加旅費等
通信費	10,886	89,906	100,792	『あしもと通信』発送等
消耗品費	5,078	41,936	47,014	文具、用紙類等
諸会費	324	2,676	3,000	グリーン連合会費
支払手数料	202	1,668	1,870	振込手数料等
地代家賃	6,480	53,520	60,000	事務所賃料
支払報酬料	9,332	77,068	86,400	税理士報酬
印刷費	828	6,834	7,662	『あしもと通信』印刷等
雑費	10,487	86,614	97,101	活動手当
経常費用計	49,216	1,459,237	1,508,453	
当期経常増減額	219,784	762,385	982,169	
経理区分振替額			0	
税引前当期正味財産増減額			982,169	
法人税、住民税及び事業税			235,433	
当期正味財産増減額			746,736	
前期繰越正味財産			2,117,317	
次期繰越正味財産			2,864,053	

財産目録


2021年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
手元現金	3,753	
普通預金		
三菱UFJ銀行 小松川支店	84,123	
小松川信用金庫 菅原橋支店	734,536	
ゆうちょ銀行 振替口座	193,615	
小松川信用金庫 定期預金	1,924,387	
小松川信用金庫 定期積立	5,400,000	
売掛金		
売電料	430,310	
流動資産合計		8,770,724
2. 固定資産		
(1)有形固定資産		
機械装置(太陽光パネル5ヶ所)	7,309,996	
有形固定資産計	7,309,996	
(2)無形固定資産	0	
(3)投資その他の資産		
出資金(小松川信用金庫)	50,000	
投資その他の資産計	50,000	
固定資産合計		7,359,996
資産合計		16,130,720
II 負債合計		
1. 流動負債		
未払金		
事務所家賃及びインターネット等使用料	108,000	
屋根賃貸料	79,200	
その他(電気料金等)	5,062	
預り金		
源泉所得税	2,205	
未払法人税等	235,200	
流動負債計		429,667
2. 固定負債		
えど・そら債 1号	4,980,000	
えど・そら債 2号	4,000,000	
えど・そら債 3号	2,500,000	
こましん えどそら3号融資	1,357,000	
固定負債合計		12,837,000
負債合計		13,266,667
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		2,117,317
当期正味財産増減額		746,736
正味財産合計		2,864,053
負債及び正味財産合計		16,130,720

監査の結果、上記のとおり相違ありません。

2021年5月12日

監事 館岡景子 

貸借対照表

2021年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	3,753		
預金	8,336,661		
売掛金	430,310		
流動資産合計		8,770,724	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
機械装置	7,309,996		
有形固定資産計	7,309,996		
(2)無形固定資産	0		
(3)投資その他の資産			
出資金	50,000		
投資その他の資産計	50,000		
固定資産合計		7,359,996	
資産合計			16,130,720
II 負債合計			
1. 流動負債			
未払金	192,262		
預り金	2,205		
未払法人税等	235,200		
流動負債計		429,667	
2. 固定負債			
えど・そら債	11,480,000		
こましん融資	1,357,000		
固定負債合計		12,837,000	
負債合計			13,266,667
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		2,117,317	
当期正味財産増減額		746,736	
正味財産合計			2,864,053
負債及び正味財産合計			16,130,720

第3号議案 2021年度事業計画案

★脱原発・脱炭素社会に向けた可能性の実践と提案

昨年10月、菅首相は国会で2050年に温室効果ガス排出量を実質ゼロとする「2050年ゼロエミッション」を表明した。これは、パリ協定の目標達成に向けた国内の声に応えたというよりも世界の動きに背中を押されたためである。政府の消極的な姿勢は、国連に提出する新たな排出削減計画で、環境NGOや市民が2030年の削減目標を60%以上と求めているにも関わらず、46%を表明したことでも明らかである。また、エネルギー基本計画の改定では、石炭火力発電の温存ばかりか、原子力発電の継続を求める産業界の声だけが伝えられている。

一方、2050ゼロエミッションを表明する自治体は増え続けている。そして、長野県や鳥取県が取り組む住宅の省エネ化施策が、国の住宅省エネ基準見直しにつながるなど、地域が国を動かす事態となっている。江戸川区でも、SDGsと気候変動に取り組むため庁内に推進本部を設置し、環境部署の拡充を行うなど変化を見せており、20年を超える経験や知見、ネットワーク持つ本会としても主導的な地位を果たすことが求められる。そのためには、様々なヒト・モノ・トコロとの新たなつながりが欠かせない。

近年、運営委員会に新しいメンバーが加わり、そのつながりから新たな事業展開にむけた芽が生まれている。新型コロナウイルス感染の収束が見えず、活動に制約はあるものの、その中でもできる事業展開を実践しながら、脱原発・脱炭素社会に向けた提案を地域社会に行っていく。

●特定非営利活動に係る事業

1. 家庭・地域における省エネアクションプランの作成とキャンペーンの実施

「えどがわエコセンター」低炭素社会づくり委員会に参加し、省エネ・節電チャレンジやみどりのカーテンモニター事業に関わると共に、中古太陽光発電パネルを利活用した移動式自立電源システムづくりワークショップの事業化を図る。

2. 地球温暖化やエネルギー等環境問題に関する研修会の実施等の啓発教育

コロナ禍で対外イベントが中止となり、研修会の開催も難しい状況にあるが、依頼には積極的に対応する。リアル開催の必要性が無い活動紹介動画の作成や絵本作成プロジェクトを通じて、気候変動問題への取り組みの重要性を伝えていく。

3. 市民出資による自然エネルギー発電所の建設と運営

コロナ禍で発電所への視察受け入れが難しい状況にあるが、依頼には感染対策に留意しながら積極的に対応する。発電所建設をめざす「一般社団法人あびこ自然エネルギー」や「一般社団法人銀座環境会議」と連携しながら、市民発電所の建設や運営を支援する。また、引き続き「市民電力連絡会」の活動に理事として参画していく。

4. 地球温暖化防止のための地域行政、国、国際社会、市民への政策提言

「気候ネットワーク」や「グリーン連合」、「ゼロエミッションを実現する会」などが企画・主催する政策提言活動に参加していく。また、政府による2050年ゼロエミッションの表明を受け、第2次エコタウンえどがわ推進計画の目標引き上げに向けて、区議会への働きかけと共に、江戸川区や「えどがわエコセンター」との協議を図っていく。

5. 気候変動枠組み条約関連会議への参加やキャンペーンの実施

「気候ネットワーク」や「ストップフロン全国連絡会」の運営に理事として参画すると共に、それらを含む団体が主催する、気候変動対策キャンペーンや再生可能エネルギーの普及拡大に向けた「パワーシフトキャンペーン」の活動に参画していく。

6. 政府機関、自治体、事業者、市民、NGOとの交流、連絡提携

「パタゴニア丸の内ストア」と交流・連携を深めていくと共に、「エコメッセ元気力発電所」、「さようなら原発江戸川連絡会」、「えどがわエコセンター」の運営に参画しつつ、「江戸川子どもおんぶず」と連携するオフグリッドハウス松江の家の運用では太陽光発電の増設を進める。また、(株)ビークルファンとの連携を通して地域モビリティの課題解決について検討していく。

7. 本法人の目的および地球環境問題全般に関する調査研究および情報の収集と提供

当会の事業目的や活動状況を広く知ってもらうため、ホームページとフェイスブックの連動による時宜に適した情報発信に努めると共に、『あしもと通信』の計画的な発行を進める。また、活動紹介パンフレットを更新・作成する。

●その他の事業

1. 発電にかかる事業

発電事業の持続に向けた保守管理コストの確保に努めると共に、借入金および出資金の償還に向けた準備を始める。そして、電力供給先である「みんな電力株式会社」との事業連携を通じて、えど・そら発電所での再生可能エネルギー発電による電気が実際に使われ、気候変動対策に貢献することを示していく。

第4号議案 2021年度会計予算(案)

活動計算書

自:2020年4月1日 至:2021年3月31日

(単位:円)

	2020年度実績	2021年度予算	摘要
I 経常収益			
売電売上	2,220,421	2,200,000	えど・そら売電収入
会員会費収入	47,000	50,000	年会費(1,000×50名)
寄付金収入	71,700	60,000	会員等からの寄付金
講師派遣収入	110,000	100,000	講師等謝金
その他収入	41,300	50,000	ワークショップ参加費、見学謝礼
受取利息	201	200	預金利息(小松川信用金庫等)
経常収益計	2,490,622	2,460,200	
II 経常費用			
1.事業費			
水道光熱費	24,134	24,000	電気代等
諸会費	9,000	10,000	気候ネットワーク会費等
支払手数料	880	1,000	振込手数料等
地代家賃	64,800	64,800	発電所用地賃料
減価償却費	977,978	900,000	えど・そら発電設備(太陽光発電パネル等)
支払利息	22,282	22,000	借入金
2.管理費			
会議費	2,100	5,000	運営委員会開催費
旅費交通費	3,440	5,000	イベント参加旅費等
通信費	100,792	110,000	『あしもと通信』発送等
消耗品費	47,014	50,000	文具、用紙類等
諸会費	3,000	3,000	グリーン連合会費
支払手数料	1,870	2,000	振込手数料等
地代家賃	60,000	78,000	事務所賃料
支払報酬料	86,400	86,400	税理士報酬
印刷費	7,662	10,000	『あしもと通信』印刷等
雑費	97,101	100,000	活動手当
経常費用計	1,508,453	1,471,200	
当期経常増減額	982,169	989,000	
経理区分振替額	0	0	
税引前当期正味財産増減額	982,169	989,000	
法人税、住民税及び事業税	235,433	240,000	
当期正味財産増減額	746,736	749,000	
前期繰越正味財産	2,117,317	2,864,053	
次期繰越正味財産	2,864,053	3,613,053	

※返済積立金 1,440,000 円 (120,000 円×12 月)、パネル処理費用 60,000 円 (5,000 円×12 月) を積み立てる予定。

第5号議案 2021～22年度役員案について

	役名	(フリガナ) 氏名	住所又は居所	備考	再新
1	理事	ナラ ユキ 奈良 由貴	東京都江戸川区臨海町2丁目2番8号 504号		再
2	理事	ヤマザキ モトヒロ 山崎 求博	東京都江戸川区中葛西7丁目7番8号 ダイアパレス葛西Ⅱ504号室	事務局長	再
3	理事	オオコウチ ヒデヒト 大河内 秀人	東京都江戸川区東小松川2丁目5番12号		再
4	理事	ヤナギザワ イチロウ 柳澤 一郎	東京都江戸川区東小岩4丁目6番10号		再
5	理事	フジイ アキコ 藤居 阿紀子	東京都江戸川区清新町1丁目4番15号 シティコープ清新706号室		再
6	監事	ヒラノ マサト 平野 将人	松戸市常盤平2丁目24番1号 公団1-48-405		新